令和３年度
在宅医療・介護連携の推進について

枚方市医師会委託分を中心に

令和４年３月

枚方市　健康福祉部　地域健康福祉室
健康福祉総合相談担当

枚方市の取り組み～地域包括ケアシステムの構築～

「地域包括ケアシステム」は、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制です。

ひらかた高齢者保健福祉計画21（第８期）第6章

第８期（令和３年度～５年度）「これまでの地域包括ケアシステムの深化・推進」

- **保健・医療・介護・福祉の連携強化**
- **認知症支援策の推進**
- 介護予防・生活支援サービスの基盤整備の推進
- 介護予防と健康づくりの取組みの推進
- 地域支え合い体制の整備
- 高齢者の多様なニーズに対応する生活支援サービスの提供

枚方市の取り組み～イメージ～

在宅医療・介護連携推進事業

事務局会議：枚方市医師会、市

多職種連携
検討部会

多職種連携
研究会
（日常生活圏域）

◆多職種連携の推進、ネットワーク構築
◆地域の医療・介護の資源の把握・情報共有の支援
◆課題抽出と対応策の検討・提供体制の構築推進
◆在宅医療・介護連携に関する相談支援
◆医療・介護関係者の研修
◆地域住民への普及啓発

地域ケア推
進実務者連
絡協議会

課題の抽出
政策の企画・立案

連
携

認知症施策

認知症
初期集中
支援検討
部会

◆認知症初期集中支援チームの設置
◆認知症ケアパスの作成
◆認知症地域支援推進員の配置
（健康福祉総合相談担当　健康増進・介護予防担当
各地域包括支援センター）
◆徘徊高齢者の早期発見支援、ネットワーク構築
◆認知症サポーター養成、活動支援

連
携

介護予防・日常生活支援総合事業の基盤整備

第2層協議体
（日常生活圏域）

第1層協議体
（市全域）

在宅医療・介護連携推進事業

（事業の経過）

在宅医療と介護の連携推進については、これまでの医政局施策である在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療連携推進事業（平成25年度～）の成果を踏まえ、介護保険制度改正において、介護保険法の中で恒久的な制度として位置づけられた。実施可能な市区町村は平成27年から取り組みを開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施することとなった。

国が示す「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の（ア）から（ク）の全ての事業を実施する。

枚方市では、平成30年度から枚方市医師会に事業を委託し、市と協働で実施している。

なお、平成20年度より医療と介護関係団体による課題検討の場として「実務者推進連絡協議会」を開催しており、平成27年度より市全域の地域ケア会議に位置付けて実施【（ア）から（エ）】している。

本事業に係る打ち合わせ会議（令和３年度）

〇開催頻度　おおむね月1回実施　全11回

4/20・5/18・6/15・7/20・8/17・9/21・10/19・11/16・12/21・1/18・2/15

〇メンバー

枚方市医師会、在宅医療連携・在宅支援コーディネーター（以下、コーディネーターと記載）、保健所保健医療課、保健予防課、健康増進・介護予防担当、健康福祉総合相談担当

〇内容

本事業の企画・実施等に関する検討・協議、情報共有等

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（ア）地域の医療・介護の資源の把握（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

内容等	時期等	備考
医療・介護資源集の作成・配布 （関係機関向け）	令和4年2月	2,000部 配布先：三師会、訪問看護ステーション連絡会等関係機関、地域包括支援センター、市担当課

往診可能な医療機関等従来の情報に加え、
医科・病院：認知症項目、訪問介護事業所：医療ケア提供状況項目等、掲載項目を追加

（イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

（1）医師会との打ち合わせ会議 本事業の企画・実施等に関する検討協議、情報共有等	月1回程度開催 （計11回）	メンバー　医師会：会長、副会長、事務長、コーディネーター、市、必要時地域包括支援センター職員
（2）コーディネータの在宅医療・介護連携推進に関する会議等への参画	令和3年4月～令和4年3月	概ね44回（令和４年１月末時点） 多職種連携研究会、訪問看護ステーション連絡会等

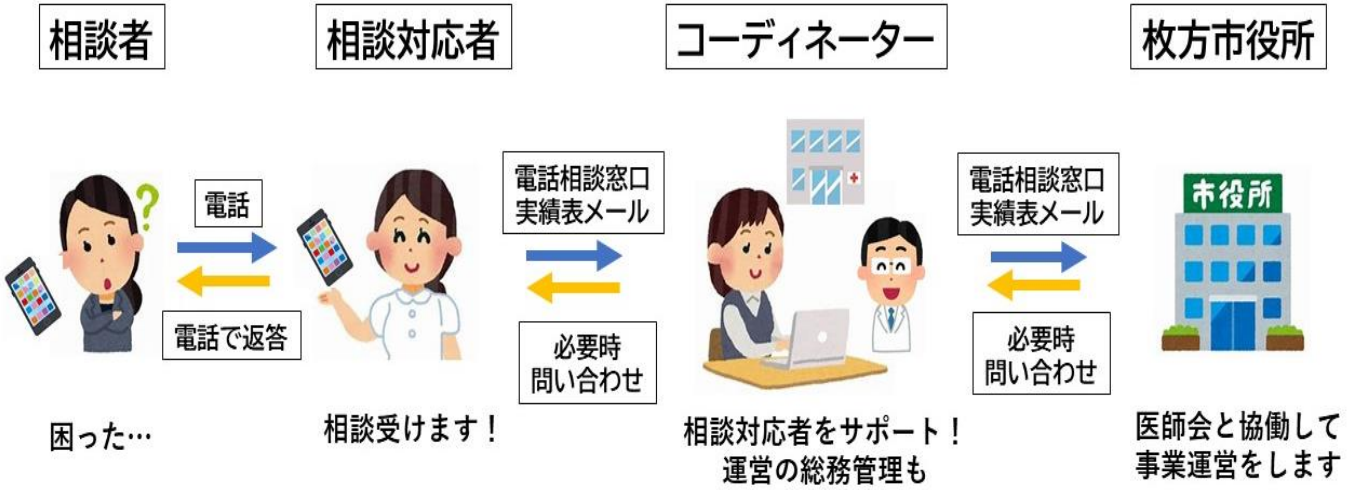
枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

（1）在宅医療・介護連携支援電話相談窓口の設置 （2）周知用チラシの作成配布、市ホームページ・医療・介護資源集に掲載	1）令和3年4月～令和4年3月　週3回（月・水・金曜日）13時～17時	1）相談件数17件（令和４年１月末時点） 2）配布先：三師会、市内介護保険事業所、地域包括支援センター、市担当課

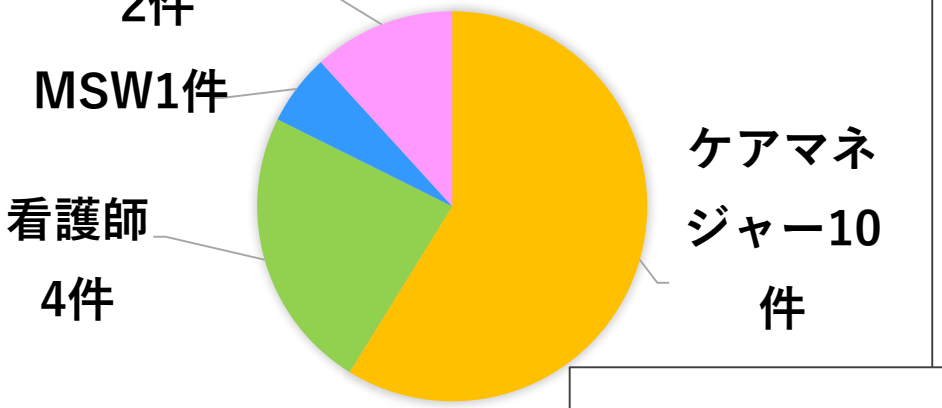
令和３年度拡充！

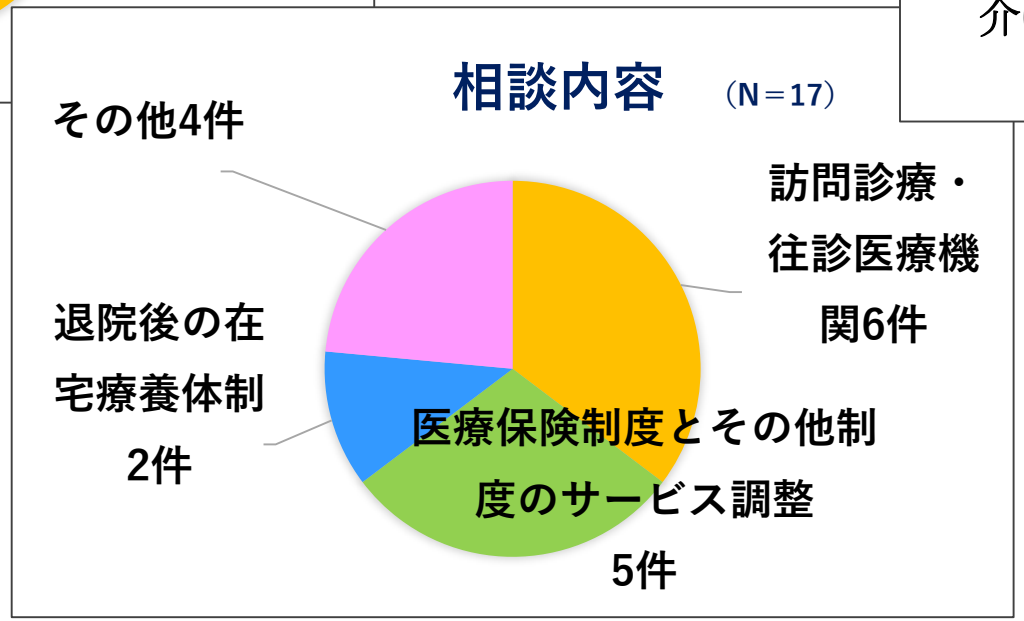
- ●身近な圏域内で連携強化・継続を目的に、市内訪問看護ステーション管理者が相談対応
- ●医師会コーディネーター・バックアップ医師のフォロー体制を構築

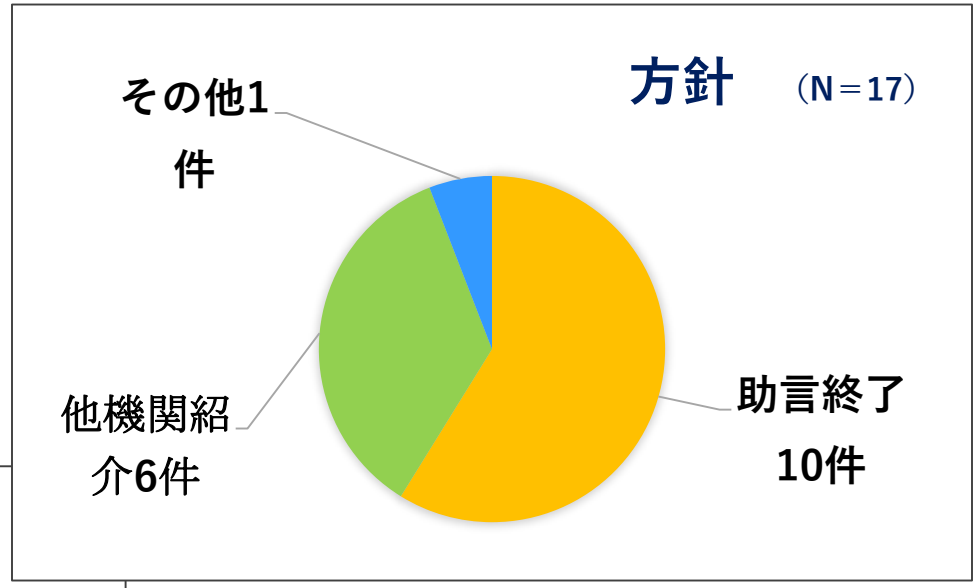


枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援　相談実績内訳　17件（令和４年１月末時点）







相談件数は
増加傾向にある
（令和３年度実績　10件）

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討

認知症が心配になっても、必要な医療・サービスが円滑に受けられる体制を目指して

医院

かかりつけ医の機能

- 日常の医学管理
- 早期発見・早期対応
- 本人・家族支援
- 多職種連携　等

サポート医

1）認知症の人の医療・介護に関わるかかりつけ医や介護専門職に対するサポート

2）地域包括支援センターを中心とした多職種の連携作り

3）かかりつけ医認知症対応力向上研修の講師や住民等への啓発

専門医療機関

専門医の機能

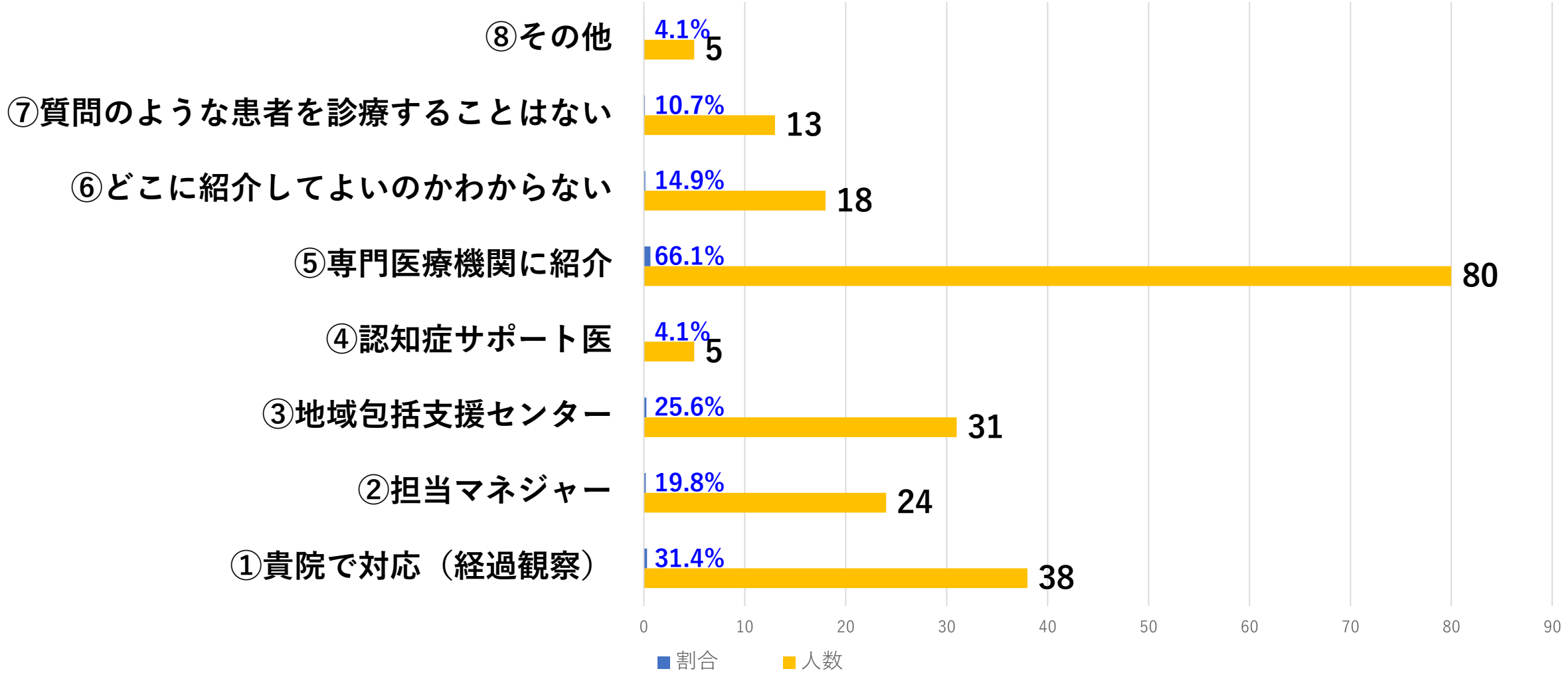
- 鑑別診断
- 若年性認知症の診断
- 急激な症状の進行や重篤な身体合併症の対応　等

認知症支援体制構築【重点施策】	時期等	備考
かかりつけ医・認知症サポート医の現状把握 ①認知症に関するアンケート実施：医師会員向け	①令和3年8月	①認知症サポート医の認知度、認知症診療時の紹介・相談先の確認
②認知症サポート医活動状況に関するアンケート実施：認知症サポート医向け	②令和3年11月	②認知症サポート医の活動状況・役割・機能を確認する

①認知症に関するアンケート結果(一部抜粋)：医師会員向け

◆認知症が疑われる患者を診察された際の相談（紹介）先について（複数回答可）

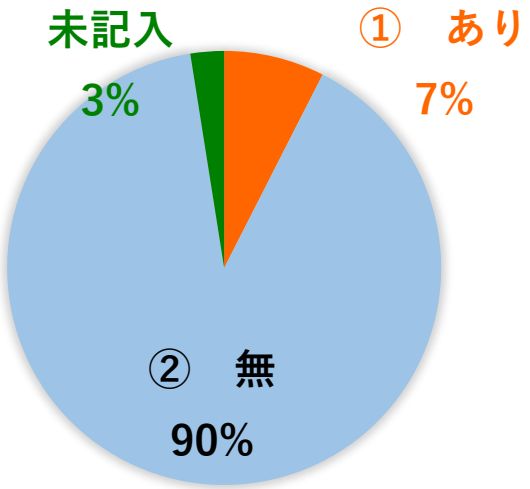
n＝１２１



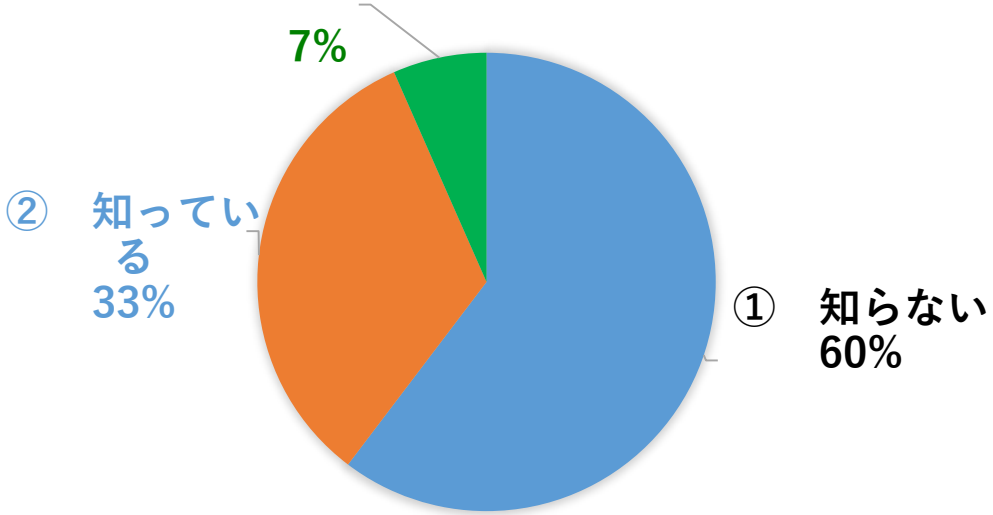
①認知症に関するアンケート結果(一部抜粋)：医師会員向け

期間：令和3年8月　対象：医師会員248医療機関
方法：調査用紙をFAX、回答はFAXで返信。
回答数：121（48.8%）

◆サポート医を知っている機関のうち、利用したかどうか　n＝４０



◆認知症サポート医を知っているか　n＝１２１



（カ）医療・介護関係者の研修

認知症支援体制構築【重点施策】	時期等	備考
認知症疾患医療センター東香里病院研修シンポジウム開催予定（枚方市医師会協働） テーマ「認知症の方への支援体制構築」	令和4年3月25日予定 枚方市医師会館	■認知症疾患医療センター・認知症サポート医・かかりつけ医の役割・機能を周知する ■認知症疾患医療センター・認知症サポート医・かかりつけ医の支援体制の現状を把握、各機関の役割・機能を整理する

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（キ）地域住民への啓発

認知症早期発見・早期治療に向けた啓発【重点施策】	時期等	備考
認知症に関する動画・動画解説資料作成、周知啓発 ←再生回数33万回超え 動画内容 ①認知症が心配なもの忘れ ②もの忘れ外来について ③認知症を支える枚方市の医療制度や相談窓口 NEW!! ④高齢ドライバーの認知機能検査 星ヶ丘医療センター 森　敏　医師 再生回数→1.6万回超え 	①～③ 令和2年10月 ④ 令和3年9月	・枚方市公式ユーチューブチャンネルにアップ ・当課ホームページに動画・解説資料掲載 ・周知用チラシの作成・配布 三師会、介護支援専門員連絡協議会、地域包括支援センター、市役所・支所等窓口 引き続き周知・啓発にご理解・ご協力をよろしくお願いします

令和４年度にむけて【重点施策】認知症の普及啓発と連携体制構築

課題

認知症初期に、医療機関や相談窓口等につながっていないことが多く、市民への正しい知識の普及啓発が必要。また、必要な医療・サービスが円滑に受けられる体制を構築する必要がある。

医療と介護サービスについて理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

■認知症に関する普及・啓発

媒体（認知症に関する動画・解説資料、ケアパス）の周知啓発、図書館等と協働イベント

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携し、支援体制を構築できる

■認知症連携体制に関する課題の抽出

多職種連携研究会等で関係機関より現状を聞き取り、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

■認知症に関する知識・支援技術習得による対応力向上

関係機関向け研修会の開催

在宅医療・介護連携電話相談窓口の周知・活用促進、医療・介護資源集等の周知・活用促進

認知症サポート医の周知・活動支援

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（キ）地域住民への啓発

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）普及啓発【重点施策】	時期等	備考
①エンディングノート・人生会議まるわかりガイド・終活リーフレット周知啓発	① 令和3年4月～	**①エンディングノート印刷予定・** **人生会議まるわかりガイド（3,000部）再版** 健康福祉総合相談担当窓口、地域包括支援センター窓口・市民講座等で配布
②在宅医療・介護連携推進事業講演会 私らしく“生ききる”ためのそなえ ～人生会議、ほんとうに大切なこと～ 講師：外山　学　氏	② 令和4年1月29日	**<u>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より開催延期</u>**

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（キ）地域住民への啓発

ACP普及啓発【重点施策】	時期等	備考
③人生会議の日11月30日イベント 1）広報ひらかた11月号掲載 2）市役所別館出入口 啓発コーナー設置 庁内館内放送にて人生会議アナウンス 3）地域包括 支援センター・ 庁内・各支所等 関係部署にて ポスター掲示	1）～3） 令和3年 11月	

津田支所
デジタルサイネージ

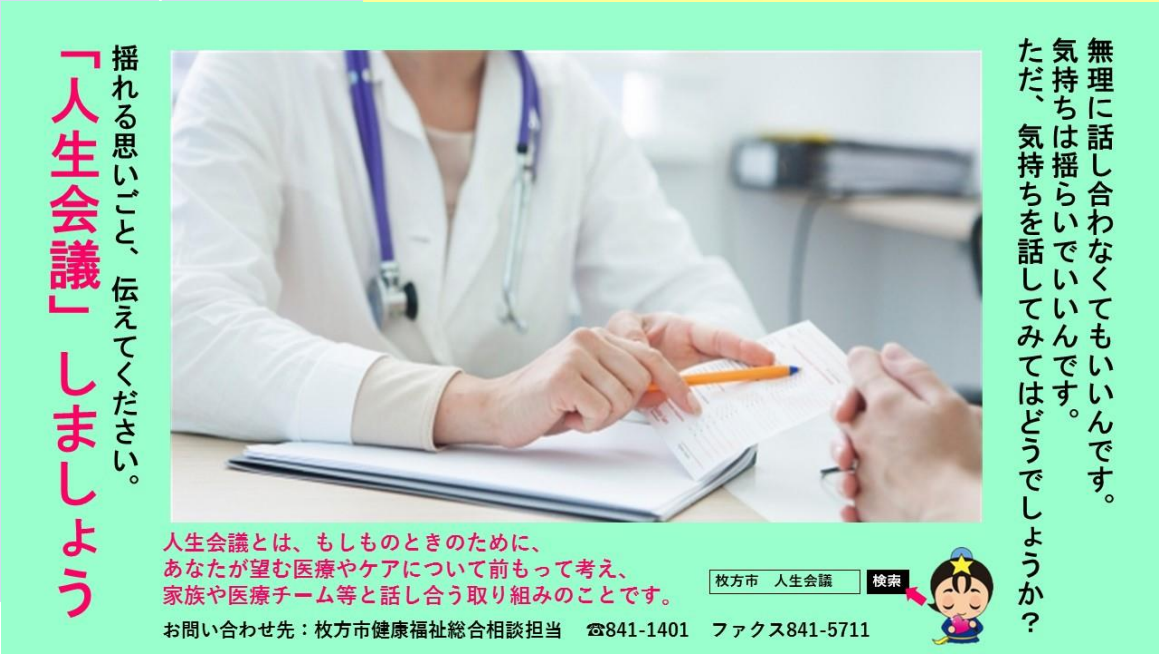
市役所別館出入口 啓発コーナー

枚方市医師会委託内容及び実施状況

（キ）地域住民への啓発

ACP普及啓発【重点施策】	時期等
③人生会議の日11月30日イベント 4）枚方市医師会員医療機関（280か所）ポスター送付 5）枚方市介護支援専門員連絡協議会事業所（約250事業所）ポスター送付市内 6）市内医療機関院内ポスター掲示 天の川病院・関西医科大学附属病院・関西医科大学くずは病院・関西記念病院・香里ケ丘有恵会病院・坂野病院・佐藤病院・市立ひらかた病院・新生病院・高井病院・津田病院・中村病院・東香里病院・枚方公済病院・福田総合病院・星ヶ丘医療センター・松谷病院・向山病院・吉田病院	1）～3） 令和3年 11月

人生会議ポスター（独居女性Vr.）



人生会議ポスター（医療機関Vr.）

枚方市医師会委託内容及び実施状況について

（キ）地域住民への啓発

ACP普及啓発【重点施策】	時期等	備考
③人生会議の日11月30日イベント 7）市ホームページプレスリリース掲載 8）月刊AGORA(アゴラ) 12月号記事掲載 9）市内図書館(８か所) 特設コーナー設置 10）市役所別館2階・ 本館1階 デジタルサイネージ 人生会議画像放映	４）～5) 令和3年 11～12月	

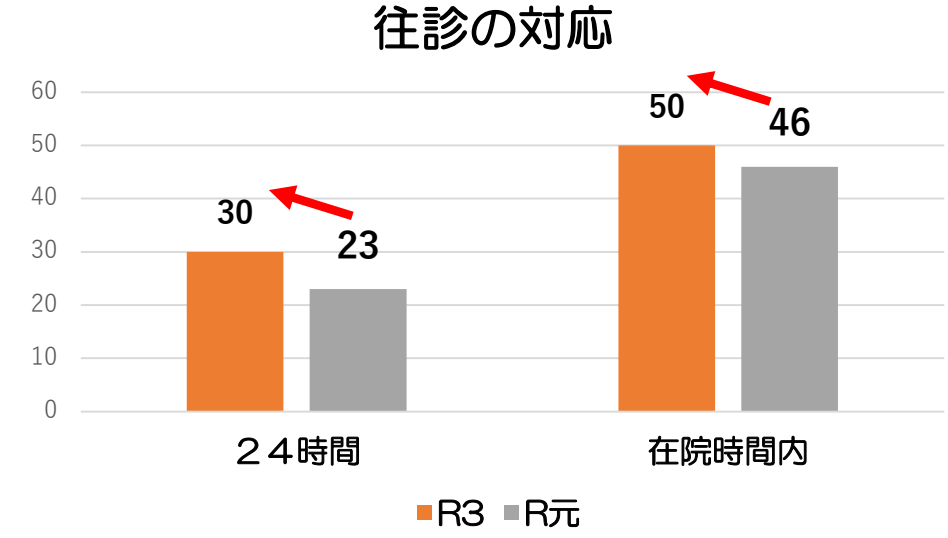
牧野図書館特設コーナー

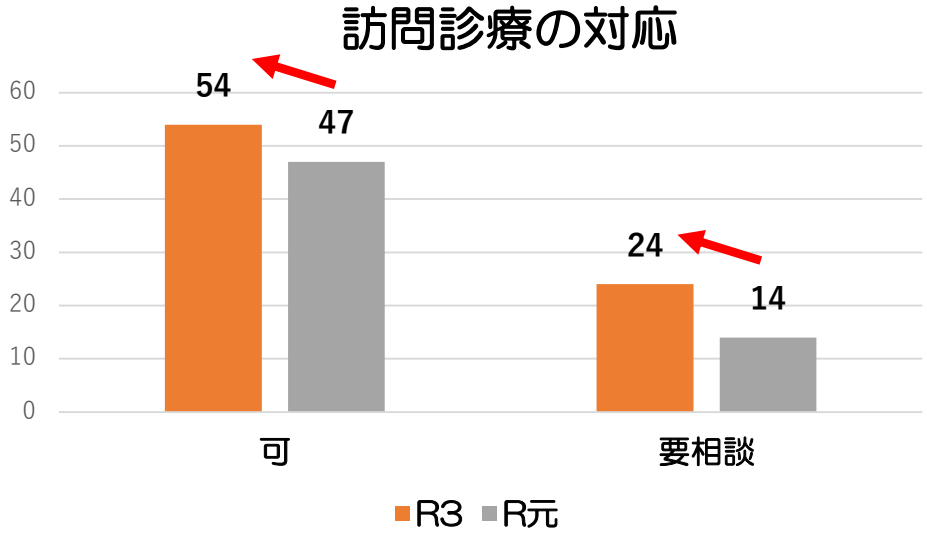
楠葉図書館特設コーナー

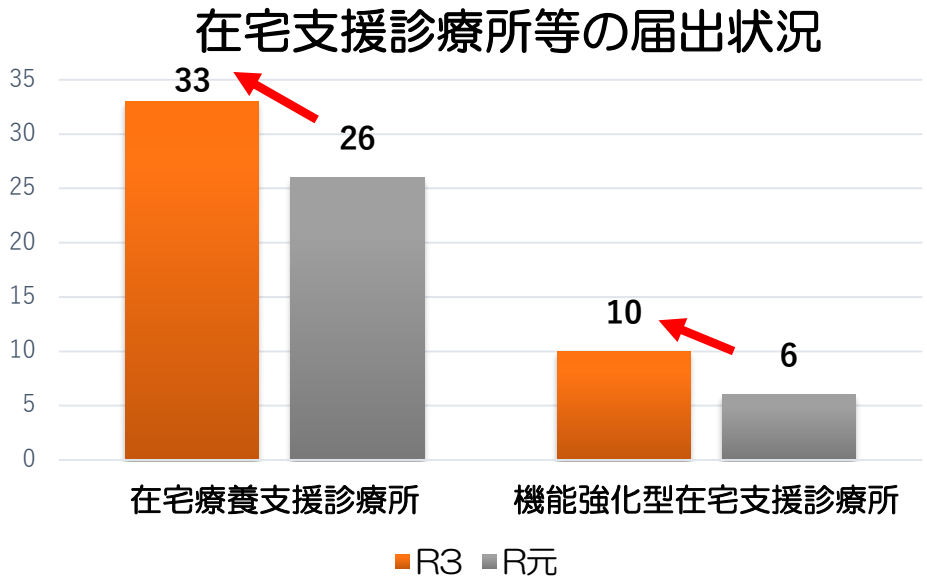
市内医療機関の看取りに関する現状把握

令和３年度枚方市医療・介護資源集アンケートより抜粋

期間：令和３年８～９月　　対象：医師会員の診療所２５０機関
方法：調査用紙を郵送、回答はFAXで返送。
回答数：２２７（91.2%）





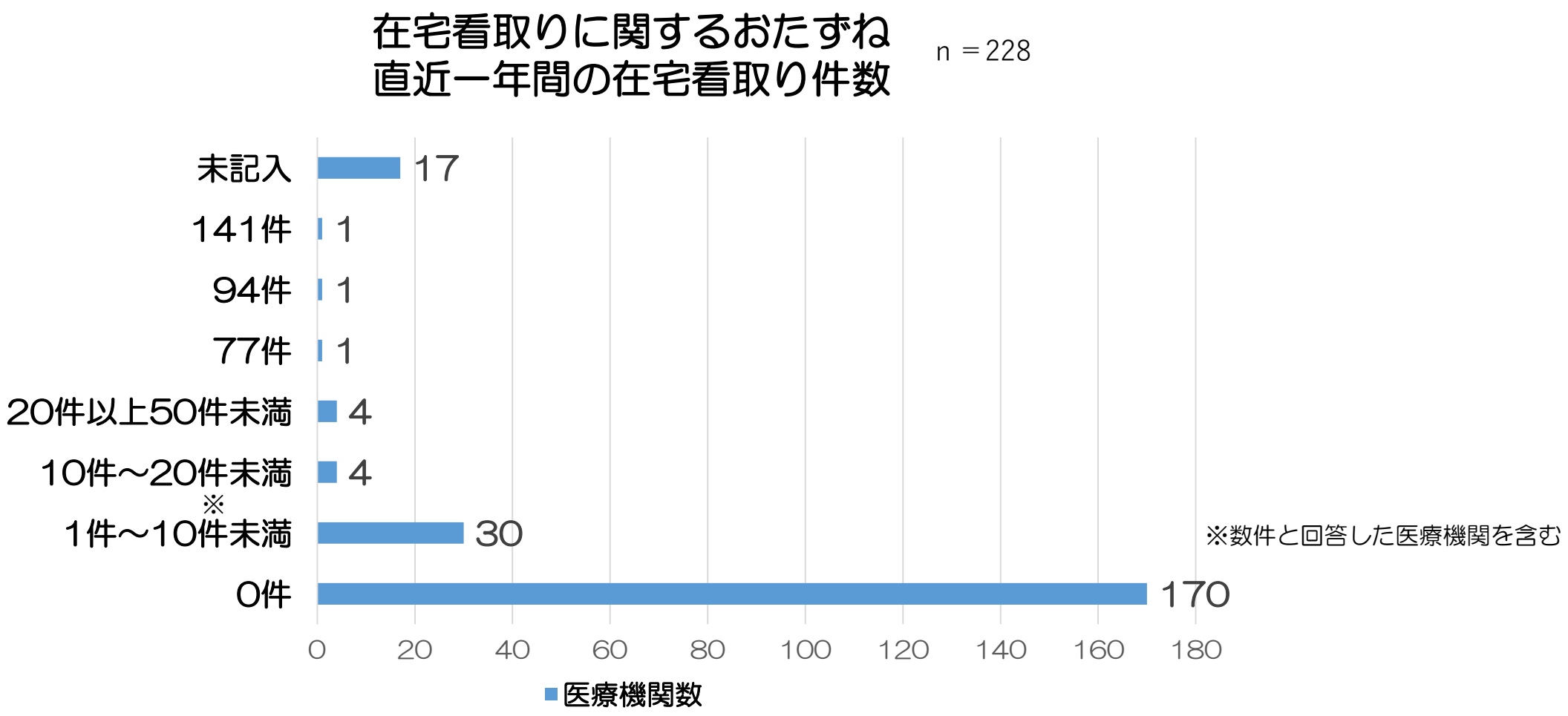


在宅支援診療所：地域において在宅医療を支える24時間の窓口として、他の医療機関等と連携を図りつつ、24時間往診、訪問看護等を提供する診療所
機能強化型在宅支援診療所：複数の医師が在籍し、緊急往診と看取りの実績を有する医療機関（地域で複数の医療機関が連携して対応することも可能）

市内医療機関の看取りに関する現状把握

令和３年度枚方市医療・介護資源集アンケートと同時実施

枚方市医師会員の診療所250件にアンケートを送付、
うち228件が回答



1件以上在宅看取りを行っている医療機関：41機関
直近一年間で約526件在宅看取りが行われた。

令和４年度にむけて【重点施策】意思決定支援の取り組み

課題

市民が、自らの望む暮らしや人生の最期等について考えたり、周囲と話し合ったり、医療・介護を選択したりできるような環境や支援体制が整っていない

医療・介護等への理解を深めてもらえるよう、市民への普及啓発を図る

①ACPに関する普及・啓発

媒体（エンディングノート、人生会議パンフレット等）を活用・啓発、市民向け講演会の開催

保健・医療・介護・福祉等の関係機関が連携を図り、ACPに関する支援を提供できる

①ACPに関する知識・支援技術の習得・向上

媒体を活用・啓発、関係機関向け研修会の開催

在宅医療・介護連携電話相談窓口の周知・活用促進、医療・介護資源集等の周知・活用促進

②ACPに関する課題の抽出

在宅医療・介護連携電話相談窓口や多職種連携研究会等で、関係機関より現状を聞き取り把握し、連携面の課題や不足する資源等を抽出する

関係機関と協働で取り組みを進めていく必要性がある！

委託以外の事業等について

枚方市医師会主催事業

枚方市主催事業

（ア）地域の医療・介護の資源の把握
（イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

多職種連携：医療・介護専門職向け	時期等	備考
地域ケア推進実務者連絡協議会 【参加団体】総合病院東香里病院（認知症疾患医療センター） 枚方ソーシャルワーク研究会、枚方市介護支援専門員連絡協議会 枚方市訪問看護ステーション連絡会、枚方市デイサービス連絡協議会 枚方市特別養護老人ホーム施設長会、枚方市訪問介護事業者会 枚方市通所・訪問リハビリテーション連絡協議会 枚方市グループホーム連絡協議会、関西医科大学附属病院地域医療連携部 枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、市立ひらかた病院 枚方市地域包括支援センター・枚方市保健所保健医療課・保健予防課、 健康増進・介護予防担当、健康福祉総合相談担当	令和4年3月18日 14時～ 枚方市医師会館	

委託以外の事業等について

枚方市難病対策分野　難病ネットワーク部会

部会構成団体：（企画運営団体）枚方市医師会・関西医科大学附属病院難病センター・枚方市保健所
（その他構成団体）枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院
枚方市病院協会・枚方市訪問看護ステーション連絡協議会・枚方ソーシャルワーク研究会

（イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1.医療ネットワークの構築・多職種連携（医療職向け）	時期等	備考
実務者会議 〇令和３年度は、令和４年３月上旬に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ延期とした。		部会構成11団体 医師、歯科医師、薬剤師、看護師 ケースワーカー、行政等

（カ）医療・介護関係者の研修

2.医療ネットワークの構築：研修会（医療・介護職向け）	時期等	備考
テーマ：「難病患者　コミュニケーション支援の実際～支援の基本と実際を学び対応力を高めよう～」 講　師：森ノ宮医療大学　教授　小林　貴代氏 ケアショップハル　酒匂　泰智氏 当事者　イラストレーター　くぼ　りえ氏（オンライン参加）	令和３年12月10日 （金）13：30～16：00	参加者　43名 （訪問看護師、ケアマネージャー等）

委託以外の事業等について

医療と介護の連携強化　ネットワーク

構成団体：星ヶ丘医療センター・枚方公済病院・市立ひらかた病院・枚方市保健所・枚方市病院協会・枚方市医師会・枚方市
構成団体以外：枚方市介護支援専門員連絡協議会・枚方市ソーシャルワーク研究会

（イ）在宅医療・介護連携推進の課題抽出と対応策の検討
（ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

1医療と介護の連携強化ネットワーク部会	時期等	備考
部会の立ち上げ準備 〇部会メンバー、開催頻度、ワーキング等について検討後、連携強化・課題解決に向け、取組を行う		
情報連携シート 〇病院や施設と介護支援専門員の情報連携 実施主体：ひらねっと※		コンソーシアム連携事業「医療と介護の連携強化ネットワーク」として周知、評価予定 協力：枚方市介護支援専門員連絡協議会

令和３年度は実施できず